

九州 赤ひげ ファイル

厚生労働省の調べによると平成28年に「がん」を原因として死亡した日本人は37万人を超える（※白血病等を含む悪性新生物による死因）。早期発見により完治する例もあるが「がん」の種類や発症する場所によっては一生付き合うことになることも多い病だ。

そんな「がん」と戦う医師の一人に会った。「ふじ養生クリニック福岡」の藤本勝洋院長だ。自身の経験と研究で患者と向き合う藤本院長に話を伺った。

不安を取り除くことから 治療は始まる

「ふじ養生クリニック福岡」を訪れるがん患者たちは、大病院やがんセンター、総合病院といったいわゆる「がん拠点病院」といわれる病院での標準療法では効果がないとされた人々がほとんどだ。これ以上、現行の治療を続けても症状に改善が望めないという、切迫した状況の患者たちが一縷の望みを見いだしやってくる人が多いという。

「患者さんの命に関わるシビアな状態です。本人もご家族も不安な気持ちで来院されます。この不安を取り除くことが、私が最初におこなうことです」と藤本院長はいう。「がんの病巣はどこにあり、現在どのような状況なのか。またこれまで飲んできた薬の種類や量、効果などを患者と家族とともに詳らかにしていきます。この対話の時間が数時間にわたることも珍しくありません。来院された時点でご自分の病気の状態を把握、理解して

患者と家族、そして医師。 三者がスクラムを組んで がん治療に臨む

いる患者さんはいらっしゃらない。現在の身体の状況を医師とともに知ることが当院での治療への第一歩だと考えています」。この最初の面談で共有した情報を基に今後の治療方針を決定、説明していくことが患者の安心とお互いの信頼関係に繋がると藤本院長は続ける。



ふじ養生クリニック福岡
院長・医学博士 藤本 勝洋さん

抗がん剤の複合的な投与やビタミン治療など、これまでの経験と独自の研究からがん治療に取り組む藤本院長。また一方で福岡大学医学部で講師を務め、後進の育成にも力を注いでいる。



がん治療のほかにアレルギー治療などの内科診療もおこなっている。いずれも完全予約制

免疫療法と化学療法の併用で がんを挑む

免疫療法とは免疫力を高め、がん細胞の活動を抑える治療方法。そのなかでも同院が実施しているのは、人が持つ免疫力を活かした自然免疫を活性化させる方法だ。患者の症状や状態に合わせて免疫賦活剤（免疫を活性化する医薬品）を投与するとともに、抗がん剤による化学療法を併用している。「患者さん各々に、副作用をほとんど出さ



使用される医薬品は、保険適用外のものもある。効果とともに患者の経済的な負担も考慮した上で適切な医薬品を提案することも医師の役目だと藤本院長

ず、体力を損なわないように、投与する量とスケジュールを調整した抗がん剤療法でがん細胞を弱らせ、壊しながら、同時に免疫賦活剤で患者さんの身体のがんへの抵抗力を向上させます。言わばがんへの攻撃と守りの両面で治療するのです」と藤本院長。両者の利点を活かしながら複合的に用いることで最善の効果を引き出しているのだ。

また、海外では使用が許可されているが国内ではまだ未認可の医薬品を使用することや、抗酸化力のある高濃度ビタミンCを投与する治療方法を行うこともあるという。ビタミン療法とは一時的に体内へビタミンCを多く注入することで、酸化還元反応を誘導し、その時に発生する副産物によってがん細胞のみを選択的に破壊する方法である。化学療法との同時併用ができないため抗がん剤治療を休んでいる間の治療方法として取り入れられているという。加えて、別の病気への使用が認可されたもので「がん」を抑制する効果を



九州はもちろん日本各地から藤本院長のもとを訪ねて患者たちが通う

持つ医薬品も藤本院長は治療の一つの選択肢として考える。医学・臨床的根拠、いわゆるエビデンスを基に国内外の治療や治療の可能性に繋がる論文を紐解きつつ、患者ごとにアプローチ方法を模索するのが藤本院長の流儀だ。

患者の「クオリティオブ ライフ」の向上を目指して

藤本院長は大学を卒業後、大病院での勤務を経た後、免疫治療専門の医療施設で経験を積んだ。そんななかで、標準治療だけで対応できない患者たちを多く診てきた。自身の研究や経験を活かしてそうした患者たちの受け皿となるため、開業したのが

「ふじ養生クリニック福岡」だ。「患者さんと医師とが一緒になって、納得いく方法で治療に臨むという姿勢が大事だと考えています。私は治療方法だけでなく使用する薬を選考した理由まで患者さんに伝えていきます。一人ひとりの状況に合わせて納得がいく治療を行うことで患者さんは笑顔でがんと付き合いながら生きていけるのだと思います」と藤本院長。病気でも仕事を続けたい、家族と過ごす時間を楽しみたい、来院する患者の想いはそれぞれだ。彼らのこれからの人生をできるだけ上質なものにするために、医師として何ができるか。藤本院長は自問し続けながら、患者とともに日々、病に立ち向かっている。



福岡市博多区博多駅前3-7-34
第2博多クリエイティブビル 3階
☎092-409-1345

ふじ養生クリニック福岡 で検索